つながり&しごとおこし オープンセミナー @福島

須賀川共労育成園ワークショップにて

創造するちからを、仕事に。

これまで余暇活動のひとつとしてみなされてきた障がいのある人たちの表現活動に、芸術的価値が認められ、アートと評価される一方で、最近はデザインと結びついた商品化やモノづくりが注目されています。

福島県においては、震災後、福祉サービス事業者相互の支援活動がきっかけとなり、新しいネットワークが生まれ、協働の商品開発、受注・販売の成功事例も生まれてきました。このモノづくりの具体的な動きを発表していただきながら、大切な理念・方法・ルール・仕組みを掘り下げていきます。

また、こうした事例のなかにはすぐれたデザイン性や発信力を秘めた事例も芽吹きはじめています。今こそ、創造するちからを仕事にいかし、それを実現するデザインの力、デザイナーとの協働にも着目したいと思います。

福祉施設発のモノづくりに関する学びだけではなく、障がいのある人たちとともに、何を目的とし、何をかたちづくっていくのかをデザインする機会です。

みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

会　期
2013年 **12月5日[木] 10:00～16:00**(受付9:30)

会　場 二本松市市民交流センター　多目的室　〒964-0917 福島県二本松市本町2丁目3-1

定　員 100名(申込み先着順)

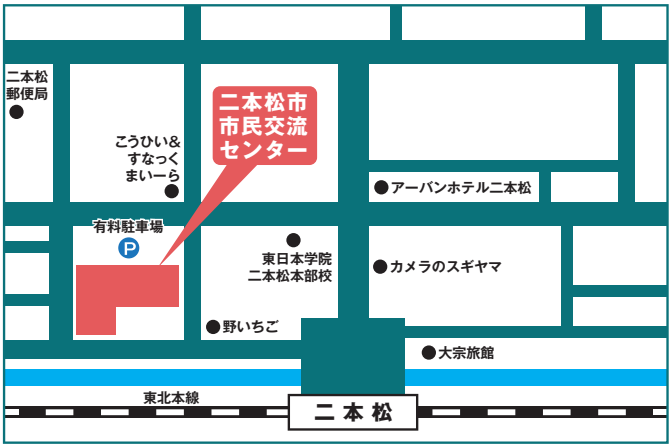
対象者 福祉施設職員、障がいのある人の新しい仕事づくりをしていきたいと考える人。
また、テーマに関心のある学生、NPO職員、デザイナー、福島のコミュニティの支援員など。

参加費 **無料**

主　催:AAR Japan [NPO法人　難民を助ける会]
共　催:JDF被災地障がい者支援センターふくしま、NPO法人エイブル・アート・ジャパン
助　成:アクセンチュア株式会社

ABLE ART JAPAN

AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan



会場:二本松市市民交流センター　多目的室

＊3階の安達太良山を眺めるカフェスペースと1階店舗では、浪江町の事業所「コーヒータイム」さんによるカフェがオープンしています。(12:00～13:00)
近隣の施設のとっておきのお菓子もご用意していますので、ぜひ休憩時間にご利用ください。

お申込み先・お問い合わせ先

NPO法人 エイブル・アート・ジャパン
〒101-0021　東京都千代田区外神田6-11-14
アーツ千代田3331　#208
TEL. 03-5812-4622　FAX. 03-5812-4630
Mail : office@ableart.org　URL : www.ableart.org

＊やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更させていただく場合があります。
＊お預かりした個人情報は、本セミナーの受付事務においてのみ使用させていただきます。

プログラム ｜ 2013年 12月5日[木]　10:00 ～ 16:00　二本松市市民交流センター　多目的室

9:30 ～ 10:00　**受付**

10:00 ～ 10:10　**主催者あいさつ**

10:10 ～ 11:00　**キーノートスピーチ「デザインは社会をかえることができるか」**

ゲストスピーカー　佐野恵子（「石巻工房」実行委員）

震災以降、デザインにできることを問いながら、デザイナーの役割をいかしたプロジェクトを実施しています。佐野さんがかかわった宮城県の「石巻工房」の事例を通して、デザイン・復興・つながり・しごとおこし、について考えます。

11:00 ～ 12:00（ディスカッション含む）　**事例紹介①「協働の商品開発と販売～実現のための仕組みづくり」**

佐藤定広（南相馬ファクトリー代表　自立研修所「えんどう豆」所長／南相馬市）

「南相馬ファクトリー」は、福島第一原発の周辺にある6つの作業所が集まった仕事おこしのプロジェクトの名称です。地震・津波・原発の3重苦により、これまでの日常と仕事をすべて失うなか、協働で缶バッジを制作しはじめ、一年で25万個を売り上げました。その仕組みづくりに学ぶとともに、震災から2年8カ月、南相馬ファクトリーが抱える成果と課題とを考えます。

12:00 ～ 13:00　**昼休み**（会場内で持込飲食可）

お知らせ①　1階では、あの有名な浪江やきそばの名店「杉乃屋」さんが営業中！ パック販売400円。
ご希望の方は、お申込みフォームにご記入ください。　※パックの飲食は会場内（多目的室）のみでお願いします。

お知らせ②　3階の安達太良山を眺めるカフェスペースと1階店舗では、浪江町の事業所「コーヒータイム」さんによるカフェがオープン。浪江やきそばのあとはコーヒーをお楽しみください。近隣の施設のとっておきのお菓子もご用意していますので、ぜひ休憩時間にご利用ください。
コーヒー（菓子付・簡易コップ）300円。ご希望の方は、お申込みフォームにご記入ください。

＊会場のある二本松市は、浪江町の役場が移転し多くの住民の方が居住している地域です。

13:00 ～ 14:00（ディスカッション含む）　**事例紹介②「障がいのある人の居場所をつくり、仕事をつくる」**

富永美保（JDF被災地障がい者支援センターふくしま／郡山市）

住み慣れたふるさとを離れて2年。そろそろ明日の夢をもとうと、2013年春、JDF被災地障がい者支援センターふくしまが、福島・双葉のみんなと「ふたば製作所」をたちあげました。全国によびかけて使用済み封筒を回収し、てまひまかけて新しいかばんが生まれています。現在、活動は週2日から次第に3日になり、受注にはまだまだおいつかないほどです。活動を通して仕事への意欲、生活はどんな風にかわったのでしょうか。その仕事の成果とこれからを考えます。

14:00 ～ 15:00（ディスカッション含む）　**事例紹介③「デザイナーとつくるプロダクト～そのプロセスとデザインの力」**

橋本由利子（NPO法人コーヒータイム理事長／二本松市・浪江町）
大原寛和（社会福祉法人牧人会須賀川共労育成園　目標工賃達成指導員／須賀川市）
MUTE　イトウケンジ、ウミノタカヒロ（デザイナー／東京）

浪江町から二本松市に避難し、活動を再開した精神障がいのある人たちの福祉事業所「コーヒータイム」を中心に協働の製品開発をスタートしました。「何か一つのものを取り上げるのではなく、いくつもの得意なことをできるだけ多く知ってもらえる一つの商品」をコンセプトに作業をスタート。オーナメント「botanippe ボタニッペ」の開発に向けて、ワークショップ巡業を行っています。障がいのある人、施設職員、デザイナーが出会ってどんな化学変化がうまれたのでしょうか。進行中のプログラムを紹介します。

15:00 ～ 16:00　**質疑応答とディスカッション**

さらなる福島発のつながり＆しごとおこしに向けて、具体的なアイディアや課題を共有しましょう。

佐野 恵子
AXISギャラリー（六本木）でデザインをテーマにした展覧会を手がける。2007年より「災害」や「食」など社会的なテーマを取り上げた「デザインにできること」シリーズ等を通してこれからのデザインの役割や可能性を発信している。東日本大震災後、デザイン関係者による復興支援プロジェクト「石巻工房」主要メンバーとして活動中。

橋本 由利子
平成9年より精神保健福祉ボランティアとして活動を始める。浪江町主催のデイケァに参加中、「毎日通える所があるといいね」との希望で平成18年4月より小規模作業所コーヒータイムを始める。平成20年6月にNPOを取得し、理事長となる。同じく喫茶コーヒータイムをオープンし、22年6月には浪江町の商店街の中に、2号店「ショップコーヒータイム」をオープンする。3.11の震災と原発事故により、15名の利用者と5名の職員全員が避難となるが、23年10月には二本松市市民交流センター内に再開し現在にいたる。

佐藤 定広
東海大学教養学部デザイン学課程卒。卒業研究は、福祉施設の建物について。
神奈川県厚木児童相談所（非常勤職員）を経て、飛鳥建築設計設計事務所入社。
ダウン症の子どもを授かったことをきっかけに、障がい者福祉の世界に入る。

大原 寛和
平成12年4月社会福祉法人牧人会白河こひつじ学園に勤務。
平成13年4月同法人須賀川共労育成園に異動し、支援員として木工、農作業、受託作業、就労支援など幅広く経験。サービス管理責任者を務めた後、現在は目標工賃達成指導員として仕事づくりや工賃の向上に努める。平成２４年に自立支援協議会内に福祉事業所（継続B）のネットワーク、SBNを立ち上げ、共同受注や複数の事業所が協力して作り上げる商品の開発に携わる。

富永 美保
福島県自立支援拠点整備事業の中で、被災障がい者支援、就労系事業所支援を担当する。
また、つながり∞ふくしまの事務局として、支援団体や事業所間の調整に携わる。
つながり∞ふくしまの事務局として、支援団体や事業所間の調整に携わり、2011年は南相馬ファクトリーのカンバッチ事業、2012年は須賀川B型事業所ネットワークと共同で商品の販売促進活動を行ってきた。

MUTE　イトウケンジ、ウミノタカヒロ
イトウケンジとウミノタカヒロにより2008年に結成されたデザインユニット。
共に桑沢デザイン研究所卒業。プロダクト、グラフィックを中心に幅広く活動している。物の背景にある、はっきりとは掴み切れない曖昧な空気を、曖昧なままにしっかりと掴みながら、物事と向き合っている。

お申し込み方法

参加お申し込みフォームに必要事項をご記入いただき、下記お申込み先までFax、E-mail、ウェブサイトまたは郵送でお申し込みください。なお、定員になりしだい締め切らせていただきます。

申し込み締切　2013年11月25日（月）

参加お申込みフォーム

ご記入の上、右記の方法でお送りください。　FAX.03-5812-4630　URL：www.ableart.org（ウェブサイトからもお申込みできます）

お名前［ふりがな］　　所属先・活動内容

ご住所［団体以外の場合は「個人宅」と書き添えてください］

TEL.　　FAX.　　E-mail.

☐ 浪江やきそば希望（　　食）　パック販売400円　　☐ コーヒー（菓子付・簡易コップ）希望（　　人分）300円